



2022 日本自動車殿堂 歴史遺産車

日本の自動車の歴史に優れた足跡を残した名車を選定し
日本自動車殿堂に登録して永く伝承します

Cars that blazed the trail in the history of Japanese automobiles are selected,
registered at the Hall of Fame and are to be widely conveyed to the next generation.

ニッサン フェアレディ Z / DATSUN 240Z

NISSAN FAIRLADY Z/DATSUN 240Z

Fairlady Z

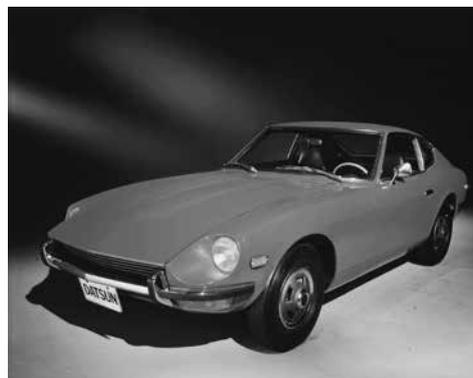


1969 (昭和 44) 年に日本国内で発売されたフェアレディ Z (S30 型)。初代 Z は、1978 (昭和 53) 年までの約 9 年間で世界販売 52 万 3000 台以上を記録した。

ニッサン フェアレディ Z (1970 年) 主要諸元

全長	4115mm	型式	S30型
全幅	1630mm	エンジン型式	L20型
全高	1285mm	駆動方式	FR
ホイールベース	2305mm	エンジン	直列 6 気筒 OHC SU ツイン
トレッド (前)	1355mm	ボア×ストローク	78×69.8mm
(後)	1345mm	総排気量	1998cc
車両重量	995kg	圧縮比	9.5
乗車定員	2名	最高出力	130ps/6000rpm
最高速度	195km/h	最大トルク	17.5kg-m/4400rpm
最小回転半径	5.5m	変速機	5 段変速機
タイヤサイズ	6.45H 14-4P	価 格	108万円

注：データは Z-L のもの。



米国では DATSUN 240Z として投入され、爆発的ヒットとなった。世界ラリーのほか、米国 SCCA ナショナルレースでも多くの栄冠に輝いている。



フェアレディ Z-L (1970 年式) に搭載された L20 型エンジン。直列 OHC、1998cc で最高出力は 130ps/6000rpm。

ニッサン フェアレディ Z/DATSUN 240 Z (S30・S31型)は、日本で最も長い歴史を刻む国産スポーツカーの初代モデルである。その前身は、まだ戦前の基本設計を残す1952(昭和27)年のダットサンスポーツ DC-3型までさかのぼり、やがて1959(昭和34)年に、格段に近代化されたダットサンスポーツ S211型がデビュー。その発展型となる1960(昭和35)年の輸出専用車・SPL212型に初めて「フェアレディ」の名が付けられている。

その後、欧州のオープン 2 シータースポーツカーに比肩する1962(昭和37)年のダットサンフェアレディ 1500(SP310型)からは日本でも正規カタログモデルとなり、1600(SP311型)を経て、最高時速200kmを超える高性能車2000(SR311型)へと発展していった。

■フェアレディ Z/DATSUN 240 Z の誕生

当時の日産は、1960年から片山豊氏[※]を米国日産へ送り込み、主力商品のセダンやピックアップトラックの傍ら、このフェアレディ(ダットサンスポーツ)で、米国スポーツカー市場でも一定の支持を得ていた。しかし、60年代の米国では、従来主流だった欧州製オープンスポーツカーの人気は下降線をたどる。市場はより安全・快適で高速巡航向きのスポーツカーを求めているのである。

米国日産社長だった片山氏も、この市場要望に合うクローズドボディのスポーツカー像を、日本の日産開発陣に熱意をもって提案した。この時のことを片山氏は、「フェアレディ Z のコンセプトは、すでに商品化されていた他の日産車のコンポーネントも活用し、ロングノーズ+ショートデッキの流線形ボディを載せた、誰でも気軽に、爽快にドライブでき



フェアレディ Z-L (1970 年式) の運転席まわり。

るスポーツカーであった」と後年語っている。

こうして生まれた新型車が1969(昭和44)年、日本ではフェアレディ Z、米国には DATSUN 240Z として投入されると、従来にない GT 的なスポーツカーを求めていた米国市場を中心に、世界各国で爆発的ヒットになった。

240Z は、旧型ダットサンスポーツから格段に進化した運動性能を生かして、当然のようにモータースポーツでも活躍し、1971(昭和46)年には、過酷な東アフリカ・サファリラリーでも優勝し、ダットサンチームに2度目の総合優勝をもたらした。雪上・氷上を疾駆するモンテカルロラリーでも上位入賞を果たすなど、スポーツカーとして第一級のポテンシャルを証明したのである。

■世界的なイメージリーダーカーとして

国内のフェアレディ Z は、4バルブ DOHC エンジン搭載の Z432 のほか、1971年には米国仕様に準ずる 2400cc エンジン車も投入。米国市場では、排気対応を図りながらも排気量を拡大し、最終的には 2800cc エンジンの 280Z へ至った。

1974(昭和49)年からは4シーター車を加えた初代 Z は、1978(昭和53)年までの約9年間で世界販売52万3000台以上を記録し、世界でも最も売れた単一型式スポーツカーの一台として、日産のイメージリーダーにとどまらず、米国での「Z カー」の愛称とともに、日本車を代表するアイコンとなった偉大な商品といえる。

※ (米国自動車殿堂者/日本自動車殿堂者)

(日本自動車殿堂 研究・選考会議)